

御 礼

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2014」実行委員会

委員長 佐藤 五郎



地球温暖化現象については多くの研究機関や国際機関が様々なシミュレーションを提示して久しくなります。何もしない場合には、やがて深刻な状況になることが共通点のようです。わが国においても昨今の極端な天気が頻発することから将来への不安がよぎってしまう人は多いのではないのでしょうか。そのような中で途切れることなく8年目を迎えた「エコカップやまがた」は全国都道府県の中でも特筆すべき事として認知されています。環境問題は全地球的な視野のもと、まずは足元から実践する事が大切であると言われます。今年も各地で実践活動をしておられる中から61件もの応募を頂き、温暖化防止に対する県民意識の高さと行動力が推察され深く敬意を表するものです。内容も啓発を旨とした環境学習から各種小規模発電さらにバイオマス利用など多岐に及んでいます。

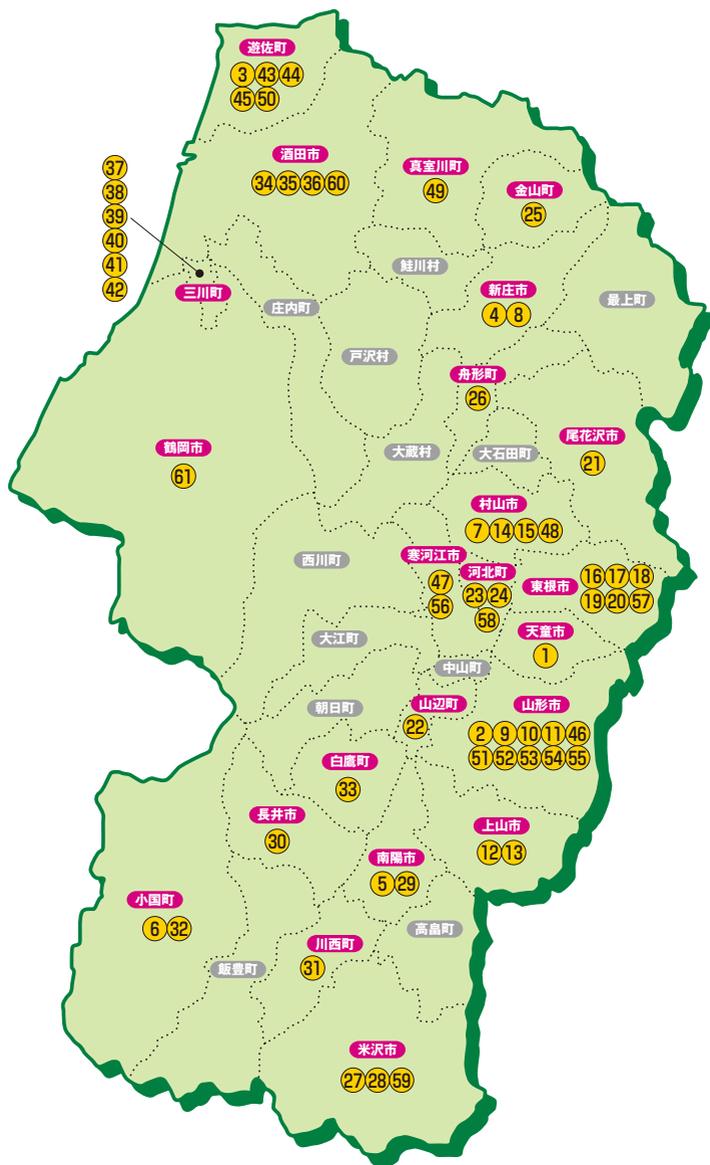
選考に当たっては地域性や発展性、独自性など様々な評価項目を設定し二段階の書類審査をおこない、まさに1点刻みの総合ポイントに実行委員一同が悩み抜き8団体の最終プレゼンを選出させて頂きました。その結果、個人家庭の拡張版とも言える旅館業において多様な取り組みを展開しておられる株式会社滝の湯ホテル様を大賞として「低炭素杯2015」に推薦しました。そして、全国1,700件もの応募の中から選ばれた39件のプレゼンテーションが2月13～14日東京で行われ、本県代表の滝の湯ホテル様が見事に「環境大臣賞・金賞」(企業活動部門)を獲得しました。これは県民全体の喜びであるとともに本県における今後の温暖化防止活動に大きな励みとなり、温暖化防止垂範県として更なる活動を願いながら、広く皆様方に御礼を申し上げます。

【ストップ温暖化「エコカップ やまがた2014」実行委員会】

<委員長> 佐藤 五郎 (NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 代表理事)
小谷 卓 (鶴岡工業高等専門学校 名誉教授)
山川 敏春 (株式会社山形新聞社 取締役論説委員長)
菅原 弘紀 (NPO法人 山形県自動車公益センター 専務理事)
沼澤 好徳 (山形県環境エネルギー部環境企画課長)

エントリー団体マップ

～ どの市町村で活動しているのかな？ ～



※マップの番号と団体名は、「3・4ページ」に記載していますので、ご覧下さい。

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2014」

目 次

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	1
エントリー団体マップ	2
目次	3～4
活動事例発表会、低炭素杯2015の様子	5～6
活動紹介	7～32
*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
共催団体の活動の紹介	33
過去の「エコカップやまがた」大賞受賞団体	34

【活動内容一覧(全応募団体)】

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
発表 (受賞) 団体	人と環境に優しい宿づくり	株式会社滝の湯ホテル	天童市	①	7
	再生可能エネルギーを利用した音楽祭	蔵王龍岩祭実行委員会	山形市	②	8
	遊佐町の地球温暖化対策の取り組み	遊佐町	遊佐町	③	9
	もがみの地域資源を活用した エネルギー地産地消の取り組み	NPO法人バイオマスもがみの会	新庄市	④	10
	NDソフト・こもれびの郷プロジェクト	NDソフトウェア株式会社	南陽市	⑤	11
	エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットとストーブの普及 ～ Green Energy for the Future ～	ベレットマン (小国グリーンエナジー合同会社)	小国町	⑥	12
	低炭素社会づくりの礎 ～太陽とともに広がる輪～	山形県立村山産業高等学校 電子道場	村山市	⑦	13
	自然エネルギーを利用した植物工場による 農産物の生産と木質廃材の有効利用	山形県立新庄神室産業高等学校	新庄市	⑧	14
	キャンドルスケープ in やまがたの開催	山形市	山形市	⑨	15
	下水汚泥をエネルギー源に ～バイオガスを利用した発電と熱利用～	山形市上下水道部浄化センター	山形市	⑩	15
行政・ 地球温 暖化 対策地 域協 議会	環境や省エネルギーに配慮した取り組み	山形市消防署西崎出張所	山形市	⑪	15
	グリーンカーテンのモデル設置	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑫	16
	キャンドルナイト イン 上山城	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑬	16
	公共施設グリーンカーテン設置事業	村山市	村山市	⑭	16
	木質バイオマス利用拡大支援事業	村山市	村山市	⑮	17
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	⑯	17
	家庭版環境ISO	東根市	東根市	⑰	17
	地域版環境ISO モデル事業	東根市	東根市	⑱	18
	MBH運動	東根市	東根市	⑲	18
	東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO事業」	東根市内の小中学校	東根市	⑳	18
	徳良湖マイクロ水力発電設備設置事業	尾花沢市	尾花沢市	㉑	19
	住宅用太陽光発電システムへの補助	山辺町	山辺町	㉒	19
	生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業	河北町役場	河北町	㉓	19
	太陽光発電システム設置補助事業	河北町役場	河北町	㉔	20
	木質バイオマスエネルギーの活用 (木質バイオマスボイラ)	金山町	金山町	㉕	20

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
行政・地球温暖化対策地域協議会	集合住宅に地中熱（大地熱）融雪を導入	舟形町・舟形町エコ産業プロジェクト研究会	舟形町	(26)	20
	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	米沢市	米沢市	(27)	21
	～みんなで地球を守ろう！親子で学ぶ地球温暖化～ソーラーカーづくり教室・環境講座	置賜地域地球温暖化対策協議会	米沢市	(28)	21
	ハイジアパーク南陽への再生可能エネルギー導入	南陽市	南陽市	(29)	21
	「ボイ捨て防止」「地球温暖化防止」啓発ポスターコンクール	長井市衛生組合連合会	長井市	(30)	22
	川西町フレンドリープラザ雪冷房システム	川西町	川西町	(31)	22
	生ごみ堆肥化事業	小国町	小国町	(32)	22
	EMIほかしづくり講座	白鷹町美しい郷づくり推進会議	白鷹町	(33)	23
	酒田市住宅用太陽光発電システム普及事業	酒田市	酒田市	(34)	23
	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	(35)	23
	廃食用油からのエコキャンドル作り	酒田市	酒田市	(36)	24
	住宅用太陽光発電システム設置補助	三川町	三川町	(37)	24
	●ゴミの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座 ●廃プラスチック上油し装置を活用したエコ出前教室の実施 ●エコキャンドルづくりの出前講座	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(38)	24
	町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、みかわ保育園幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(39)	25
	巡回資源回収、資源リサイクルステーション及び資源ポストによる資源リサイクルの推進	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(40)	25
	住民参加型「空き缶回収事業」	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(41)	25
	廃食用油（植物性）の集団回収とBDFへリサイクル	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(42)	26
	遊佐町再生可能エネルギー設備導入補助事業	遊佐町	遊佐町	(43)	26
	遊佐町小中学校省エネチャレンジ事業	遊佐町	遊佐町	(44)	26
	マイクロ水力発電実証事業	遊佐町	遊佐町	(45)	27
NPO・団体等	環境出前教室（マイ箸作り）	NPO環境と食農研究会	山形市	(46)	27
	木質ペレットの製造・販売を通じた環境貢献活動	協同組合山形ウッドエネルギー・やまがた木質ペレット研究会	寒河江市	(47)	27
	ecoキャンドルナイト in むらやま	蕨葉プラザ市民委員会	村山市	(48)	28
	荒廃化の進む里山林整備と森のバイオマス利用	蕨山探研究会	真室川町	(49)	28
	小中学校の廃食用油を利用したせっけん作り（I中、6小）	JA庄内みどり女性部 せっけん研究会	遊佐町	(50)	28
	山形県民の森湿性植物園での「身近な水生生物生息環境保全活動」	NTT東日本山形支店グループ	山形市	(51)	29
企業等	TUYエコキャンペーン 地球温暖化防止&エコ番組「山形エコプロジェクト えごいろ」制作・放送	TUY 株式会社テレビビュー山形	山形市	(52)	29
	環境に優しい自動車販売・整備事業場	トヨタカローラ山形株式会社	山形市	(53)	29
	太陽光発電所を通じた低炭素社会の啓蒙活動	株式会社みはらしの丘上山発電所	山形市	(54)	30
	太陽光発電システム 小白川支店に続きアグリセンターに3基目を設置	山形市農業協同組合	山形市	(55)	30
	ノンフロン冷却設備の導入	日東ベスト株式会社	寒河江市	(56)	30
	環境製品の開発と普及活動	株式会社山本製作所	東根市	(57)	31
	ガソリンスタンドの環境保護活動	港屋商事株式会社	河北町	(58)	31
	置賜地域域での中規模太陽光発電所	東南電気工事株式会社	米沢市	(59)	31
	デマンドモニターを活用したホテルでの省エネルギー活動	株式会社ホテルリッチ酒田	酒田市	(60)	32
	地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発	株式会社社連会電気土木	鶴岡市	(61)	32

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2014」 活動事例発表会

平成26年10月25日(土)の活動事例発表では、書類選考にて選ばれた8団体の事例発表を行いました。多くの方のご参加をいただき、事例発表を聞いて参考になったという声が多数寄せられました。発表団体の皆様、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

また、発表団体のうち、「株式会社滝の湯ホテル」には「エコカップやまがた大賞」が、「蔵王龍岩祭実行委員会」には「エコカップやまがた実行委員会特別賞」が贈られました。

エコカップやまがた大賞

- ◎株式会社滝の湯ホテル(天童市)
「人と環境に優しい宿づくり」

エコカップやまがた実行委員会特別賞

- ◎蔵王龍岩祭実行委員会(山形市)
「再生可能エネルギーを利用した音楽祭」

エコカップやまがた賞

- ◎遊佐町(遊佐町)
「遊佐町の地球温暖化対策の取り組み」
- ◎NPO法人バイオマスもがみの会(新庄市)
「もがみの地域資源を活用したエネルギー地産地消の取り組み」
- ◎NDソフトウェア株式会社(南陽市)
「NDソフト・こもれびの郷プロジェクト」
- ◎ベレットマン(小国グリーンエナジー合同会社)(小国町)
「エネルギーの地産地消を目指した木質ベレットとストーブの普及
～ Green Energy for the Future ～」
- ◎山形県立村山産業高等学校 電子道場(村山市)
「低炭素社会づくりの礎 ～太陽とともに広がる輪～」
- ◎山形県立新庄神室産業高等学校(新庄市)
「自然エネルギーを利用した植物工場による農産物の生産と木質廃材の有効利用」



低炭素杯2015

株式会社滝の湯ホテル【環境大臣賞 金賞】受賞

平成27年2月13日(金)~14日(土)に、今回で5回目を迎える「低炭素杯2015」が東京ビッグサイトで開催されました。

低炭素杯は、次世代に向けた低炭素社会の構築をめざし活動する全国各地の活動発表を通じて、連携の輪を広げていくものです。

低炭素杯2015へは、全国からエントリーされた約1,700団体のうち、厳しい審査を経て選ばれた39団体がファイナリストとして、プレゼンテーションを行いました。

山形県からは、エコカップやまがた大賞を受賞し、山形県代表として推薦された「株式会社滝の湯ホテル」が出場しました。プレゼンテーションは、滝の湯ホテル様の環境への想いが伝わるような素晴らしい発表でした。丁寧でわかりやすく、明るく楽しい寸劇なども取り入れ会場を沸かせていました。

そして、審査の結果、見事に「環境大臣賞・金賞」（企業活動部門）を受賞し、本県のレベルの高さを実証してくれました。

低炭素杯2015の詳細は「低炭素杯2015」ホームページ (<http://www.zenkoku-net.org/teitansohai2015/>) にてご覧いただけます。出場団体すべてのプレゼンテーション動画も公開されています。





エコカップ やまがた 大賞

天童市

人と環境に優しい宿づくり

株式会社滝の湯ホテル [マップ番号: ①]

旅館の一番の課題は大量の食品残渣、いわゆる食べ残し、その食べ残しを肥料に変えることで滝の湯農園で作る無農薬有機野菜の肥料にしています。使用済み割り箸を燃やす過程で竹酢液をつくり防虫防菌の液体を製造し利用、現在は竹林から竹を伐採し炭に変え、粉碎したものとリサイクル肥料を混ぜて土を作りその土で野菜を栽培しお客様に提供する「循環型有機農法」に取り組んでいます。ゴミの分別は勿論、化学合成洗剤を石鹼洗剤に変え、送迎用ワゴン車は食用廃油リサイクルでBDFを使用し送迎用電気自動車も配備しています。通路には木質ペレットストーブを、屋上には太陽光発電設備が完成。「企業の森づくり」事業として市内4社で杉林13.5haを県や林業公社と下草刈り、間伐をしています。森林整備に伴い森林そのものの活力を高め結果的にCO₂削減に寄与しています。

こうしたささやかな取り組みが「人と環境に優しい宿づくり」を支えています。





山形市

再生可能エネルギーを利用した音楽祭

蔵王龍岩祭実行委員会 [マップ番号: ②]

蔵王龍岩祭は毎年8月下旬に蔵王温泉上ノ台ゲレンデで開催される音楽祭です。蔵王をもっと元気にしたい！という地元の若者達の熱意から始まり、今年で9回目の開催となりました。

4つの音楽ステージを中心に毎年およそ100組前後のアーティストが出演、来場者およそ6,000人～8,000人を動員し、全国のロックフェスファンからも認知される音楽祭へと成長しました。

音楽祭と言うカテゴリーの中で、3日間開催される会場を、一つの国と考え、ライフスタイルの提案という形で、再生可能エネルギーを用いたステージ電力の発電、CO₂削減につながるリユースカップの利用など環境に関する取り組みを行っております。

私たちはこの祭りを世界が続く限り、世代を超えて続けていきたいと願っております。

来年で10回目を迎える蔵王龍岩祭に是非お越し下さい！





遊佐町

遊佐町の地球温暖化対策の取り組み

遊佐町 [マップ番号: ③]

平成22年に民間企業が7基の風力発電の売電事業をスタートさせ、平成23年夏には、運営主体の民間企業と町との共同申請で、遊佐町海岸にさらに1基が建設され、運転開始となりました。この8基で、約4500万kWh/年発電し、遊佐町で使用する電力の半分以上をまかなうことができ、地域の豊かな資源(風力)の活用でエネルギーの地産地消が進んでいます。

また、平成12年から環境自治体会議の自治体会員として、環境政策に熱心に取り組む自治体のネットワークに加盟しています。環境マネジメントシステムLAS-E(環境自治体会議スタンダード)を運用し、外部監査員制度を導入して、環境配慮行動の推進体制を構築しています。

全町対象の地球温暖化対策事業については、遊佐町地球温暖化対策協議会エコすまいるレディースと連携して、創意工夫しながら様々な普及啓発事業を展開しています。

「身近なところからみんなで取り組もう ～ 家庭から地域へ そして地球温暖化防止」

これまでの取り組みを1つ1つ積み重ねながら、町民1人ひとりが取り組む意識付けの呼びかけを行っています。これからは、その意識付けの浸透を図るため、町民が楽しく自主的に参加できるしくみづくりを進めています。





もがみの地域資源を活用した エネルギー地産地消の取り組み

NPO法人バイオマスもがみの会 [マップ番号: ④]

当団体では、山形県や最上管内の市町村と連携し、バイオマスに関する勉強会などの普及啓蒙活動、各分野の地域活動とのネットワークの構築と地域活性化の推進を行っていた。これまで10年の活動で、最上地域管内の自治体、民間企業、市民を対象に最上地域が持つ自然資源のバイオマスエネルギーに関する情報提供や情報交換の場づくりを実施してきた結果、個々に導入・事業化までに至るなど成果が上がっている。平成24年度から3ヶ年にわたって、環境省の支援により、地域内の民間企業や金融機関、研究者、教育機関の有識者が中心となって、最上地域の自然資源を活用し、公益的な地域経済に寄与することを目的として「最上地域再生可能エネルギー協議会」を立ち上げ、意見交換を行ってきた。それらから派生して、地域主導型の公益的な再生可能エネルギー事業の創出へ向けて、地元資本が参加する『もがみ自然エネルギー株式会社』を設立し動き出している。





南陽市

NDソフト・こもれびの郷プロジェクト

NDソフトウェア株式会社 [マップ番号: ⑤]

森林整備（下刈り/間伐/林内歩道作道/歩道整備/林地残材回収/薪づくり等）を中心に、南陽市と合同の地域交流イベントも開催しながら、誰もが憩える里山を目指しています。

■活動内容

①場所：南陽市上野 ハイジアパーク南陽の東側山林 約3ha

②期間：(第一期) 平成23年4月～平成28年3月

③内容：森林整備全般および地域交流イベント

※コンセプトは「森から生まれたものは森に帰す、森で使う」

4月から11月までの期間、定例会として毎月1回現地活動しています。

荒れていた山林に人の手が入る事により、自然と街との緩衝地帯である里山本来の機能を取り戻します。また昨年から大学コンソーシアムやまがたと連携し、本活動を大学のカリキュラムの一つとして大学生を受け入れて共に活動しています。この活動を継続し地域との絆を深めると共に、森づくりを経験した学生や社員の中から将来の低炭素社会を担うリーダー的人材が育つことを願っています。





エコカップ やまがた賞

小国町

エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットと ストーブの普及 ~ Green Energy for the Future ~

ペレットマン(小国グリーンエナジー合同会社) [マップ番号: ⑥]

当社は、人口8500人ほどの小国町で6年ほど前からストーブ屋を営んでいます。この町の面積は95%が森林であり、この森林資源を活用して地球温暖化防止や町の地域活性化に貢献したいという思いから始めたペレットストーブの設置は1シーズン目は1台のみの設置でありましたが、徐々にその良さが広まり、6年目には150台のストーブを設置する事ができました。

また、WEBやストーブ展示場「ペレットマン」を開設しPRを行っていますが、同じ思いでストーブ等を広めていく方達が、鶴岡市や酒田市や最上町等にも展示場「ペレットマン」を開設し、現在も増殖中です。さらに、当社の近くにある製材所と連携し小規模ペレットプラントを設置し、平成26年度から試験的にペレット燃料も製造・販売しています。

なお、置賜地域のペレット工場やペレット販売店等で組織した団体で置賜地域のペレットストーブで削減されたCO₂をとりまとめ、2011年度に41t-CO₂がJ-VER制度で認定され、プロ野球のナイターの試合等でカーボンオフセットされました。





低炭素社会づくりの礎 ～ 太陽とともに広がる輪 ～

山形県立村山産業高等学校 電子道場 [マップ番号: ⑦]

本校は2014年4月に村山農業高校と東根工業高校が統合し、新たに地域の未来を担う人材育成を目指し、農業科・工業科・商業科を併置した山形県内初の複合型専門高校として開校した。そして、旧東根工業高校で培った手作り太陽電池パネル技術を活かし、地域での太陽電池パネル手作り講座や東日本大震災の被災地での出前講座など継続して実施している。

特に1ワットの太陽電池パネルは小学生でも手軽に製作できる。また、製作したパネルで充電できるLEDライトも講座の中に組み入れ、再生可能エネルギーの仕組みを体験から学ぶ機会になっている。その他にも、燃料電池で走行する電車を導入し、各種イベントで燃料電池の紹介や大学と連携した太陽電池パネルの発電量の改善、開発途上国でのエネルギー問題の解決に取り組んでいる。

これらの活動を各種団体と協働で行い、地域での環境教育活動に力を入れ、未来を担う子ども達に低炭素社会形成の礎を作っていきたい。





自然エネルギーを利用した植物工場による 農産物の生産と木質廃材の有効利用

山形県立新庄神室産業高等学校 [マップ番号: ⑧]

昨年度応募して発表させていただいた「植物工場の取り組み」については、現在エコにつながる設備を整備中である。光源として電力の大半を消費するナトリウム電球に替わる、発熱しにくい蛍光灯を選定。来年度本格的な実験に向けて実験設備を構築中である。

また今年度は、本校機械システム科の3年生の課題研究班において、森林の間伐材や河川の廃木材などこれまで無駄にしてきた木質廃材を何かに有効利用できないかと考え、現在生徒6名でこのテーマを設定し取り組んでおります。具体的には、河川伐採木を薪ストーブの燃料とし燃焼させ、薪ストーブに装着した給湯装置で冷水を温水に変えて循環させ、途中に設けたヒートパイプに温水の熱を伝道させることにより広範囲の消雪を実現させようと考えています。

1、活動期間 平成26年4月～平成27年1月

機械システム科3年「課題研究」の授業の中で活動

2、事業の効果

- ①化石燃料を必要とせず、CO₂の削減につながる。
- ②これまで有料処分している河川伐採木の有効活用
- ③NASAで開発されたヒートパイプの超熱伝導体を使用し、熱源に電気を使用しない。
- ④国土交通省新庄河川事務所との連携や地元特有の気象環境にある冬期期間の融雪に効果



山形市

キャンドルスケープ in やまがたの開催



山形市 [マップ番号: ⑨]

キャンドルスケープinやまがたは、平成17年度から毎年継続して行われているイベントで、平成26年度で第10回目の開催となる。電気の灯りを消して、ロウソクを灯しながらゆったりとした時間を過ごす中で、地球温暖化などの環境問題やライフスタイルについて見直すきっかけとなることを願い、山形市、学校、商店街等が各主体となって実施する環境啓発イベント。

平成26年度は、山形市役所前会場の他、七日町御殿堰・山形まるごと館紅の蔵・山形まなび館、霞城公園前商店会、山形大学小白川キャンパス前広場などで7月5日(一部は7月12日)に開催。近隣小学校の児童の協力もいただきながら、節電の取り組みへの理解を深めてもらうことを目的としている。山形市役所前会場の推定来場者約1,000人。

山形市

下水汚泥をエネルギー源に～ バイオガスを利用した発電と熱利用～



山形市上下水道部浄化センター [マップ番号: ⑩]

山形市浄化センターでは、下水汚泥を嫌気性消化した際に発生するバイオガス(メタンガス)を利用し、燃料電池(100kW)4基により発電を行っています。

平成25年度の電力自給率は62.3%で、発電と排熱利用により2,223tのCO₂排出を削減したと試算しています。

山形市

環境や省エネルギーに配慮した取り組み



山形市消防署西崎出張所 [マップ番号: ⑪]

消防署西崎出張所は、平成24年10月1日に設置されました。建物は免震構造で、敷地内には自家用給油取扱所、ヘリポート、自家用発電設備を備え、大規模災害の発生時には、災害対応の拠点として位置付けられる施設です。また、環境や省エネルギーに配慮した施設として、敷地内に最大限の緑地を確保し、建物の南側壁面上部には合計で90㎡のソーラーパネルを設置することで温室効果ガス排出量の削減に努めております。

上山市

グリーンカーテンのモデル設置



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑫]

震災後、節電への取り組みが重要視されており、当協議会では冷房効果の向上が期待できるグリーンカーテンの普及を目的とした事業に取り組んでいます。

市役所庁舎では昨年同様に庁舎壁面を借り受け、ネットを利用したアサガオ栽培の紹介を行っており、

市内の「上山城」、「らんなあ事業所」及び「生活介護事業所あゆも」の各施設において同様のモデル事業として、ゴーヤやフウセンカズラ等の栽培に取り組み、日差しを遮り、エアコンの使用頻度を減らし、省エネ効果でCO₂を削減し、地球温暖化防止に取り組んでいます。

上山市

キャンドルナイト イン 上山城



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑬]

公益財団法人上山城郷土資料館の協力のもと、上山市のシンボルでもある『上山城』を舞台に行っている事業です。平成26年度は使用済油を利用したエコキャンドルを使用しました。館内では地球温暖化防止を呼び掛けるパネルの展示や家庭のアクションへの参加の呼びかけ、スタンプラリー、節電をテーマにしたイベントも含んだステージショーを行い、来場者に対して地球温暖化防止を呼び掛けました。

村山市

公共施設グリーンカーテン設置事業



村山市 [マップ番号: ⑭]

村山市では、夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。平成26年度は22施設でグリーンカーテンを設置し、暑い夏でも涼しく過ごしました。

また、ゴーヤを植えた保育園では、園児がもぎ取りをした実を利用して、苦くないゴーヤジュース作りも楽しみました。

村山市

木質バイオマス利用拡大支援事業



村山市 [マップ番号: ⑮]

村山市では、再生可能エネルギーの普及促進を図るため、平成25年度から木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ、まきストーブ等）を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は補助対象経費の3分の1以内で、上限10万円です。

市民からの問い合わせも多く、再生可能エネルギーへの関心が高まっています。

東根市

環境週間ひがしね



東根市 [マップ番号: ⑯]

環境を意識した行動・生活を実践していくことを目的に、市民・事業所・行政が協力して開催している事業です。10回目の開催となる今年度は11月16日～24日の期間、さくらんぼタクトルセンターを会場に地域版環境ISO事業の表彰式、環境講演会、環境保全関係のパネル展などを行いました。期間全体で約700名の来場がありました。

東根市

家庭版環境ISO



東根市 [マップ番号: ⑰]

将来を担う子どもたちに環境負荷の少ない生活を身に付けてもらうことも目的に、家庭でできる環境にやさしい生活に取り組む事業です。今年度は、市内の保育所や児童センターの児童を対象に、各家庭で「水を出したままにしない」「見ないテレビは消す」など7つの項目に取り組みました。参加者は140名でした。

東根市

地域版環境ISO モデル事業



東根市 [マップ番号: ⑱]

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減するため、身近なエネルギーである電気使用量の削減に区単位で取り組む事業です。市内7地区においてモデル区を選定し、各家庭で節電を行いました。今年度は285世帯が節電に取り組み、参加率の高い区や節電の取り組み結果が優良な区を「環境週間ひがしね」で表彰しました。

東根市

MBH運動



東根市 [マップ番号: ⑲]

できることから始める環境への取り組みとしてMBH(マイバッグ・マイ箸持参)運動を全市をあげて行っています。市内の大型スーパーなど9店舗と協定を結びレジ袋の有料化を実施しています。また、市職員におけるマイ箸持参運動や市商工会と協力して市内の小売店におけるレジ袋の削減運動、飲食店で塗箸の提供などの運動を行っています。

東根市

東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO事業」



東根市内の小中学校 [マップ番号: ⑳]

市内全小・中学校(小9校・中5校)では、学校教育の一環として児童、職員が一体となって環境保全活動に取り組んでいます。取り組みは、共通項目(省エネ・省資源・リサイクル)と学校や地域の特色を生かした独自項目に分かれています。11月19日には、全校が集まり活動内容の報告会(実践交流会)を開

催し、互いの活動内容の紹介などを行いました。

尾花沢市

徳良湖マイクロ水力発電設備設置事業



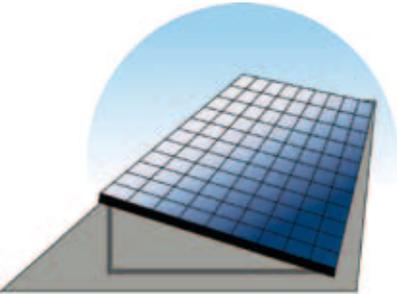
尾花沢市 [マップ番号: ㊸]

マイクロ水力発電設備を設置した徳良湖周辺は、年間約38万人（H24年度）が訪れる観光地です。また、徳良湖周辺の施設については、指定避難所となっている徳良湖温泉「花笠の湯」をはじめ、周辺の駐車場が「一般避難所」に指定されており、防災面でも重要なエリアとなっています。

発電方式は、豪雪地である当市でも年間を通じて安定した発電を見込むことができることから、徳良湖の水資源を利用した水力発電による方式を選択し、最大発電出力が3kW程度、5kW/hの蓄電池と単相100vコンセントを備えた街路灯を3基整備しました。発電した電力は、災害発生時など、周辺駐車場で電力を必要とする場合の電力供給や、指定避難所へ避難する際の誘導灯の電力として使用されます。

山辺町

住宅用太陽光発電システムへの補助



山辺町 [マップ番号: ㊹]

地球温暖化防止対策として、クリーンエネルギーである太陽光を利用した住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して3万円/kW（4kW上限）を助成し、環境に配慮したまちづくりを推進しています。

また、町内の小学校2カ所において太陽光パネルを設置し、環境意識の向上や環境学習の充実にも努めております。

河北町

生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: ㊺]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では、一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために、生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。

2基で1組とし、補助額は購入価格の2分の1以内の額（3,000円限度）です。

河北町

太陽光発電システム設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: ②4]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省エネ等の役割が求められており、河北町では平成23年度より太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。

対象は、町内の住宅に設置するもので、補助額は1kWあたり30,000円(120,000円上限)です。

金山町

木質バイオマスエネルギーの活用(木質バイオマスボイラ)



金山町 [マップ番号: ②5]

温浴施設「ホットハウスカムロ」は、『グリーンバレー神室』内にあり、地域の間伐材や隣地残材の利用促進、再生可能エネルギーの活用によるCO₂の削減などを目的に、これまでの重油ボイラから木質バイオマス燃料とするボイラを導入しました。

燃料は地域内から生産される生木チップやバーク(樹皮)を燃焼させて得られる熱源を利用し、源泉の昇温・暖房・給湯に活用しており、環境に配慮しながら、地場産業である林業の活性化にも大きな効果を期待しております。またエリア内には太陽光発電と雪冷房施設が併設されており、一帯が環境学習ゾーンとして位置づけております。

舟形町

集合住宅に地中熱(大地熱)融雪を導入



舟形町・舟形町エコ産業プロジェクト研究会 [マップ番号: ②6]

子育て世代が入居することができる子育て支援住宅「ハイムひだまり」2棟の屋根及び駐車場に地中熱(大地熱)利用の融雪システムを導入。

ハイムひだまりでは、町道の散水消雪用の地下水をカスケード利用し、屋根に熱交換した不凍液を循環させ融雪、熱交換した地下水は駐車場の無散水融雪に利用したのち、町道の散水消雪管に戻して町道の消雪として利用している。

このように、限りある資源(エネルギー)を3段階で有効利用している。

○CO₂削減量 108t/年

米沢市

住宅用太陽光発電システム設置補助事業



米沢市 [マップ番号: ⑳]

地球温暖化対策として、市内の住宅に太陽光発電システムを設置される方に補助金を交付しています。補助金を交付することで、再生可能エネルギーの導入を支援し、家庭からの温室効果ガスの削減を図ります。補助金額は1kW当たり20,000円(最大80,000円)です。

米沢市

～みんなで地球を守ろう!親子で学ぶ地球温暖化～ソーラーカーづくり教室・環境講座



置賜地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ㉑]

太陽光発電の仕組みを学び、環境にやさしいエネルギーへの理解を深めるため、平成25年11月、飯豊町においてソーラーカーづくり教室を開催し、23名が参加しました。

併せて環境講座を実施し、地球温暖化の影響に関する説明や参加者一人ひとりが家庭でできる省エネ・節電アイデアの紹介など、

地球温暖化防止に向けた普及啓発を行いました。

南陽市

ハイジアパーク南陽への再生可能エネルギー導入



南陽市 [マップ番号: ㉒]

平成24年度に国の再生可能エネルギー等導入地方公共団体支援基金を活用し、本市の指定避難所である温泉保養施設「ハイジアパーク南陽」へ太陽光発電設備20kW、小型風力発電設備3kW、蓄電池設備15kWhを整備しました。

太陽光発電設備は、223Wのモジュールを96枚設置し、小型風力発電設備は、環境への影響が小さく、集風効果の高い風レンズ風車を県内で初めて導入しました。年間発電量は、2万2,500kWhを見込んでおり、平常時は、館内の電力の一部として活用し、CO₂削減に貢献できるものと期待しています。

長井市

『ポイ捨て防止』『地球温暖化防止』啓発ポスターコンクール



長井市衛生組合連合会 [マップ番号: ③①]

長井市衛生組合連合会では毎年『ポイ捨て防止』『地球温暖化防止』をテーマにしたポスターコンクールを実施しています。対象は長井市内の小中学生です。

平成26年度は各小中学校から115点の作品応募がありました。

全作品の中から、小学生の部、中学生の部にかけて審査を実施し、小学生の部：最優秀1点、優秀賞5点、佳作6点、中学生の部：最優秀1点、優秀賞3点、佳作3点を選び、表彰を行いました。また、応募いただいた作品は、全作品を市民展に展示したほか、市役所ロビーに入賞作品を展示しました。

川西町

川西町フレンドリープラザ雪冷房システム



川西町 [マップ番号: ③①]

川西町では、劇場や図書館などの大型複合施設「フレンドリープラザ」に、雪を使った冷房を導入しています。これは、雪国にとって“やっかいもの”であった雪を貯蔵し、夏に資源として活用するという古くて新しいシステムです。このシステムを導入したことにより年間約14トン

のCO₂排出を削減しています。雪冷房システムの雪を貯蔵する貯雪庫は2棟あり、大きさは延床面積394平方メートル、軒高8.2メートルで、貯雪計画量は963トンとなっています。この給雪量で年間334時間の冷房能力があり、フレンドリープラザの冷房能力を十分確保しています。

小国町

生ごみ堆肥化事業



小国町 [マップ番号: ③②]

家庭から出る生ごみを堆肥にし、ごみ削減と食の安心安全への理解を深めることを目的として実施している。

町内の一部地域、保育園から密閉バケツで一次発酵させた生ごみを各玄関前から回収し農家の畑に施肥する。生産した野菜は、保育園の給食に供給したり、スーパーで販売することで資源が循環する仕組みづくりをしている。

この取り組みは、ごみの削減、安全安心な作物の供給につながると考え、回収地域を拡大しさらなるごみの削減を図っている。

白鷹町

EMぼかしづくり講座



白鷹町美しい郷づくり推進会議 [マップ番号: ㉔]

白鷹町美しい郷づくり推進会議では、EMを使用したぼかしづくり講座を行っています。EMぼかしを利用した生ごみ堆肥を作り、家庭の生ごみを減少することで、ごみ処理に要するエネルギーの削減につながり、地球温暖化防止になります。今年度は4つの公民館で講座を開催し、合計で77名の参加をしていただきました。

酒田市

酒田市住宅用太陽光発電システム普及事業



酒田市 [マップ番号: ㉕]

平成21年度より地球環境の保全に寄与するため、太陽光発電システムを設置する方に補助金を交付しています。同様の国等の補助金の交付を受ける方も対象になります。補助額は、太陽電池の出力1kW当たり3万円（初年度2万円）、最大補助額は12万円（初年度8万円）です。補助実績は、21年度が50件、22年度が45件、23年度が78件、24、25年度が74件でした。

酒田市

緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号: ㉖]

平成20年度から省エネ・地球温暖化対策として市の施設に緑のカーテンを設置しています。平成26年度からは、より多くの市民や事業所の方からも取り組んでいただくためにゴーヤの種と育て方の手引を無料で配布しています。今年度は、ゴーヤの種約8,000粒を市民や市内の事業所に配布しました。（平成

22年度～25年度まではゴーヤの苗を配布していました）

酒田市

廃食用油からのエコキャンドル作り



酒田市 [マップ番号: ③⑥]

平成23年度より、小学校の高学年を対象に、廃食用油を原料としたエコキャンドル作りを行っています。このエコキャンドルを夏至と七夕のライトダウンを行う際に使ってもらうことで、ゴミの減量化や省エネルギーだけでなく地球温暖化防止を含めた環境教育につながっています。平成26年度の参加人数は、24組33名でした。

三川町

住宅用太陽光発電システム設置補助



三川町 [マップ番号: ③⑦]

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成25年度より太陽光発電システム設置費用の補助制度を行っています。

国の制度で同様の補助金を受ける方も対象になります。

補助金の額は、1kWあたり30,000円（上限120,000円）です。

三川町

•ゴミの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座 •廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施 •エコキャンドルづくりの出前講座



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑧]

町内会の集会で家庭から出るゴミの分別、ゴミ総量の減量とCO₂の削減、環境保全についての出前講座を開催しています。

みかわ保育園・幼稚園で廃プラスチック卓上油化装置の実演や横山小学校4年生の授業でエコキャンドルづくりの出前講座を実施しました。

三川町

町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑳]

町民にゴーヤ苗を無料配布（300ポット）、公共施設等へのグリーンカーテンの設置（公共施設等8ヶ所に計100ポット）を行いました。

グリーンカーテンを設置することにより、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼働抑制が図られ、CO₂の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がりました。

三川町

巡回資源回収、資源リサイクルステーション及び資源ポストによる資源リサイクルの推進



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉑]

各家庭から出る資源ごみを巡回資源回収や町公民館前に設置した資源リサイクルステーション及び資源ポストで回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

平成25年度の結果は、巡回資源回収では計34.0t、資源リサイクルステーションでは計52.3t、資源ポストでは計10.3t、合計で96.6t回収しました。

三川町

住民参加型「空き缶回収事業」



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉒]

各家庭から出る空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ゴミ総量の減量とCO₂の削減、環境保全の意識啓発を図りました。平成25年度は、アルミ缶を6.7t、スチール缶を5.0t回収しました。

町内の3つの小学校で実施している空き缶回収では、平成25年度にアルミ缶0.8t、スチール缶0.4t、合計1.2tを回収できました。

三川町

廃食用油（植物性）の集団回収とBDFへリサイクル



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ④②]

各家庭から出た廃食用油（植物性）は、各町内会で集めて、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場でバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルされた後、

その一部を本町が所有するごみ収集車の燃料に再利用しています。

平成25年度に各町内会から回収した廃食用油は656ℓで、ごみ収集車に給油したBDFは3,064ℓでした。

遊佐町

遊佐町再生可能エネルギー設備導入補助事業



遊佐町 [マップ番号: ④③]

一般家庭や事業所への再生可能エネルギー設備の導入を普及促進し、地球温暖化防止に寄与するため、平成26年度より太陽光発電設備導入補助事業から木質バイオマス燃焼機器や太陽熱利用などにも拡充した補助事業を実施しています。対象は、町内在住者の住宅や事業所に設置する場合で、山形県の補助事業または町の住宅支援制度とあわせて受けることができます。

これまで、町内の小学校やJAの穀物貯蔵乾燥施設（ントリーエレベーター）への大規模な太陽光パネルを設置しており環境保全の充実を図っております。

これまで、町内の小学校やJAの穀物貯蔵乾燥施設（ントリーエレベーター）への大規模な太陽光パネルを設置しており環境保全の充実を図っております。

遊佐町

遊佐町小中学校省エネチャレンジ事業



遊佐町 [マップ番号: ④④]

児童生徒自らが電気・水道の省エネ目標を設定し行動することで、学校における環境教育と地球温暖化防止に向けた省エネ活動の一層の推進を図ることを目的としている。

削減目標をクリアした学校へは報奨金で還元をし、子供会活動などに役立ててもらおう仕組み。これまでのフィフティ

フィフティ事業から、新たに、子供たちの省エネの取組み過程も評価対象として支援する事業である。

子供達の環境学習の取組みの浸透から、家庭生活への波及効果も期待される。（事業実施期間 平成25年度～平成27年度）

遊佐町

マイクロ水力発電実証事業



遊佐町 [マップ番号: ④5]

平成22年度に、原口プランの一環として、「緑の分権改革事業」において、実証実験に取り組んでいる。

一般の用水路において、常時流量に対する水深の上部余裕高を利用し、余裕高相当の堰上げ背水を有効落差として、簡易に発電することを目的とした新しい発電方式である。

現在、遊佐中学校敷地内の通学通路にLED4灯を設置し、平成26年度も引き続き実証実験を行っている。これからも、水力発電機のデータを積み上げて、水位の安定確保などの問題点を解決しながら、さらなる需要の拡大を視野に入れながら、その実用性に向けた可能性を探っていく。

山形市

環境出前教室(マイ箸作り)



NPO環境と食農研究会 [マップ番号: ④6]

各地域の行事や小学校の学年行事などで環境出前教室(マイ箸作り)を開催しています。環境出前教室では、割り箸や森林伐採による環境への影響、地球温暖化のお話、自作絵本「ゆうたとおはし」の読み聞かせ、オリジナルマイ箸の制作を通じて、マイ箸利用を

子供たちやその親御さんに啓蒙しています。

平成26年度は2回開催し、314名の方に参加いただきました。

寒河江市

木質ペレットの製造・販売を通じた環境貢献活動



協同組合山形ウッドエネルギー・やまがた木質ペレット利用研究会 [マップ番号: ④7]

当組合では、山形県内の間伐材を主な原料として、木質ペレットを製造し、販売しています。木質ペレットは、ストーブやボイラーの燃料として利用できますが、二酸化炭素の削減、また、間伐材を利用することで森林整備、さらには地域活性化にもつながります。

研究会では、天童市の道の駅で、ペレットストーブの展示を行うなど木質ペレットの普及活動を行っています。

村山市

ecoキャンドルナイト in むらやま



甌葉プラザ市民委員会 [マップ番号: ④⑧]

この事業は今年で5年目となります。物の再利用によるゴミの削減をはじめ、地球温暖化や環境保全に対する学習のきっかけづくりとして、村山市内7つの小学校の3年生を中心に、廃口ソクを使ったエコキャンドルづくりを行いました。5月24日に子ども達が自らの作ったメッセージ付きのエコキャンドルに火を

灯し、改めて地球環境保全の大切さをPRしました。

真室川町

荒廃化の進む里山林整備と森のバイオマス利用



甌山探究会 [マップ番号: ④⑨]

山村地域には、屋敷林といわれるスギと孟宗竹の混交林がある。これまで人の利用によって維持管理されてきた里山民有林である。これが今、過疎と高齢化の中で後を継ぐ者もない状況も見られ、利用することなく荒廃化の進むままに放置していることが多い。このため所有者の了解を得て、私たちが昨年度から面積2.5haの間伐整備事業を実施している。この

中で孟宗竹の間伐材について森のバイオマス利用として、「塩根川学校の森」の常設炭窯を使用し竹炭づくりを行い、森と人との関わりや竹炭は住環境の浄化作用に優れていることなどを多くの人に学んでほしいとの思いから学校や地域住民と連携し、自然環境保全と地球温暖化防止の大切さを認識することを目標として取り組んでいるところである。

遊佐町

小中学校の廃食油を利用したせっけん作り(1中、6小)



JA庄内みどり女性部 せっけん研究会 [マップ番号: ⑤⑩]

平成5年から粉せっけんとう型せっけんを作っている。

廃食油を年間約600リットル回収し、1,800kgのせっけんを製造している。

環境汚染問題と資源の再利用を考えて、廃食油を原料にして作った粉せっけんである。石けんは、微生物のエサとなって、分解される

ので水を汚しません。きれいな水と健康のために石けんを使いましょう。

山形市

山形県民の森湿性植物園での「身近な水生生物生息環境保全活動」



NTT東日本山形支店グループ [マップ番号: ⑤]

NTT東日本山形支店グループでは、やまがた県民の森湿性植物園で、社員参加型「希少水生生物生息環境保全活動(55名/年参加)」を実施しています。この活動は、大型草本類(がま、葦)の引き抜き作業を行い、生息数減少が顕著な「マダラナニワトンボ」「ハッチョウトンボ」などの生息環境を保全します。活動を通じて、参加した社員だけでなく、広く地域のみなさまへも生物多様性保全活動の大切さを伝えることを目標としています。

山形市

TUYエコキャンペーン 地球温暖化防止&エコ番組「山形エコプロジェクト えこいろ」制作・放送



TUY 株式会社テレビユー山形 [マップ番号: ⑤②]

TUYでは、長期的キャンペーンとして、弊社の情報番組やニュース番組、キャンペーンスポット放送を通して「エコ&地球温暖化防止」の啓発活動を展開していますが、更に新鮮で身近な情報を県民に伝えるために、エコと地球温暖化防止のレギュラー番組「山形エコプロジェクト えこいろ」を立ち上げ、2009年6月から放送しています。毎週月曜の夜6時50分から放送の4分間の番組で、毎回一つのテーマを設け、県内で取り組まれている大小様々なエコ活動や温暖化防止に関連する情報を中心に紹介しています。県民一人一人のエコへの関心が身近なものとなり、その取り組みが普段の生活の中から自然に生まれることを目指し、身近な目線で番組をつくっています。

山形市

環境に優しい自動車販売・整備事業場



トヨタカローラ山形株式会社 [マップ番号: ⑤③]

国土交通省「環境に優しい自動車販売店・整備事業場」認定に挑戦し、05年に全店が“全国初”となる「認定表彰」を受ける。「環境マイスター」の認定者数は県内最多であり、エコドライブ教室をイベント等で開催。

その他、無料でタイヤ空気圧調整を行ったり、ペットボトルキャップ回収を積極的に行い、“世界の子供たちへのポリオワクチンの提供活動”、“リサイクルによるCO₂削減活動”を行っている。また、本社社屋に大規模な太陽光発電(40kW)を設置、城北店・天童店・新庄店には廃油ボイラーによる「無散水消雪設備」を導入している。

山形市

太陽光発電所を通じた低炭素社会の啓蒙活動



株式会社 みはらしの丘上山発電所 [マップ番号: ⑤4]

当社は山形パナソニック(株)・山形建設(株)・東北電化工業(株)が共同出資した特定目的会社で上市市殿の借地にて「みはらしの丘上山発電所」を運営しております。当発電所の年間発電量は120万kWhで年間約56tのCO₂削減を想定しております。

また、森林間伐時に発生した間伐材をチップに加工し発電所の防草利用などで森林保全も含めた低炭素社会の推進しております。その他に企業等や小中学校の見学受入れ、上市市で推進しているクアオルトとも連携し発電所周辺にウォーキングコースも設置しております。

山形市

太陽光発電システム 小白川支店に続きアグリセンターに3基目を設置



山形市農業協同組合 [マップ番号: ⑤5]

JA山形市の太陽光発電システムは3基合計で年間162,600kWhを発電します。これは一般家庭の消費電力量の約50世帯分に相当します。また、石油に換算すると18Lポリタンク2,050本分、36,900Lに値します。これからも環境保全・再生可能エネルギーの普及という社会的要請に答え、地域に向けて発信して行きます。

JA山形市の太陽光発電システム

本店ビル	平成21年12月稼働	出力	40kW	
小白川支店	平成22年3月稼働	出力	12kW	
アグリセンター	平成25年12月稼働	出力	117kW	合計 169kW

寒河江市

ノンフロン冷却設備の導入



日東ベスト株式会社 [マップ番号: ⑤6]

日東ベスト(株)山形工場に設置する冷却設備の冷媒を、代替フロンに替えて、温暖化係数の小さい自然冷媒を使用します。

このことにより、冷媒漏洩時の環境への影響低減、並びにエネルギー使用量の低減によるエネルギー起源の二酸化炭素排出量の削減が可能となります。

本事業は、下記の二つの補助事業の交付を受けて行っています。

【補助事業名】

- ・経済産業省：ハンバーグ製造設備として「平成26年度代替フロン等排出削減先導技術実証支援事業」
- ・環境省：ハムカツ製造設備として「平成26年度二酸化炭素排出抑制対策事業の省エネ型ノンフロン整備促進事業」

東根市

環境製品の開発と普及活動



株式会社山本製作所 [マップ番号: ⑤7]

農業機械メーカーとして灯油・電力をユーザー段階で削減できるよう、遠赤外線発生装置を搭載した穀物乾燥機を1999年いち早く発売し、従来型乾燥機と比べ灯油消費量を10%、電力消費量を30%削減することに貢献している。

また環境関連商品としてリサイクルの難しい発泡スチロールを焼却しないで再資源化する廃発泡スチロール減容機ならびに山の間伐材や未利用の廃材を熱源として再利用するためのペレットストーブ、ハウス暖房機等を相次いで発売し、再生可能エネルギー利用に資する環境製品メーカーとして貢献を続けている。また、自らの敷地内にある野球場を転用し、年間50万kWhの発電能力を有する太陽光発電設備を導入している。

河北町

ガソリンスタンドの環境保護活動



港屋商事株式会社 [マップ番号: ⑤8]

①古紙回収を通じての環境保護活動/ガソリンスタンドに顧客が古新聞をまとめて持ち込むとガソリンを値引きする取組みを平成20年から実施。古紙はリサイクルのルートに乗せ、専門業者の買取で得た益金を活用し、平成21年には西村山・最上地区の全小学校へ環境に関する絵本を寄贈した。さらに、平成22年には河北町に電動スクーターを2台寄贈した。

②太陽光発電/自社の遊休地を活用し、事業用の太陽光発電を設置した。定格出力48kWを2箇所設置し、1箇所は平成24年度中に申請を行ったため、平成24年度の買取価格である42円/kWh(税込)が適用され、もう1箇所は平成25年度の買取価格である37.8円/kWh(税込)が適用された。現在も積極的に増設を続けている。

米沢市

置賜地域での中規模太陽光発電所



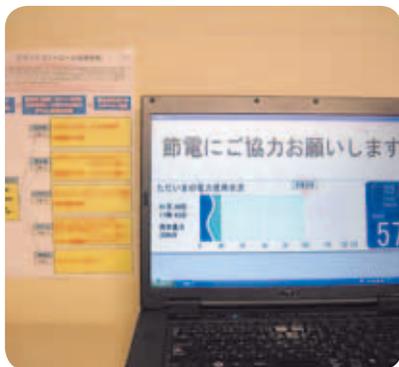
東南電気工事株式会社 [マップ番号: ⑤9]

売電専用98kWの太陽光発電である「グリーンパワー置賜発電所」を高畠町に設置し、平成25年7月28日より稼働を始めました。年間発電量は最大11万3,600kWhを想定しており、家庭約25世帯分にあたります。このような中規模の太陽光発電所は置賜地区では初めて設置。

地元エネルギーは地元企業でつくり地元で使うエネルギーの地産地消の思いから事業に乗り出しました。この事例が地域活性化のモデルケースになれば幸いです。

酒田市

デマンドモニターを活用したホテルでの省エネルギー活動



株式会社ホテルリッチ酒田 [マップ番号: ⑥]

デマンドモニターの取付・活用およびホテル内の省エネルギー活動により、契約電力を削減することが出来た。デマンドモニターの活用では、目標値に到達すると警報が鳴るようし、「デマンドコントロール実施手順」に従い行動する。

鶴岡市

地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発



株式会社渡会電気土木 [マップ番号: ⑥]

当社では、地元地域の黒松及び杉材間伐材等を原料とした木質ペレット燃料を年間約970t(平成25年度実績)生産し、地域に供給販売しております。化石燃料の代替燃料として各施設のペレットボイラー普及にも力を入れております。

また広葉樹等の木質チップをリサイクル利用した臭いのしない各種プランター用土並びに土壌改良材、木質ペレットを利用する農業ハウス用ペレットストーブの開発販売、経験を生かした木質ペレットプラントの設計・施工と、環境に優しい事業展開を押し進めております。ものづくり推進事業として、厄介者である土砂が付着した伐根を洗浄してペレット燃料等に活用する、抜根洗浄機の開発にも取り組んでおります。マイクロ水力発電開発分野に於いて他社と共同で、産学官連携開発を実施推進しております。



山形市

エコドライブ普及推進事業



特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター

「簡単に取り組めるエコドライブの普及推進」を目的に毎年開催しております「県内縦断エコドライブオリエンテーリング」も8回目となり、山形・三川の2コースから出発、今回はエコドライブモデル事業所として県知事より認定頂いております企業様からの参加もあり、合計151台/378名と多くの方よりご参加頂き、豊かな観光県であります地元山形の観光も兼ね、楽しみながら学ぶ・知ると言ったきっかけづくりのイベントとして定着、ゆとりを持った運転、又、エコカーとしての性能を引き出す為の運転方法が、結果的に「エコドライブ＝環境にも人にも優しい＝交通安全（交通事故の低減）」に繋がるといった認識も深まりつつあります。

近年、急速に自動車の高性能化が図られる一方、一人一人の心がけ次第でより効果が表れるエコドライブの普及推進に向け、継続した取り組みを行い、「より環境・人に優しい山形」でありますよう努めて参ります。



「エコカップやまがた」ホームページでは、
2007年度からの応募団体をご覧いただけます。
<http://eny.jp/eco-cup/index2014.html>

エコカップやまがた

検索

過去のエコカップやまがた大賞受賞団体



2007年度

特定非営利活動法人アンプ(新庄市)
「新庄中心商店街資源回収プロジェクト「ちょべっと」」



2008年度

山形県立置賜農業高等学校(川西町)
「MOTTAINAIプロジェクト」



2009年度

山形県立東根工業高等学校(東根市)
「ものづくりプロジェクト
～手作り太陽電池パネルから広がる世界のCO₂削減～」



2010年度

港屋商事株式会社(河北町)
「古紙回収を通じた環境保護活動」



2011年度

山形県立米沢工業高等学校(米沢市)
「米エゼロエミッションプロジェクト」



2012年度

山形県立山形工業高等学校環境システム研究会(山形市)
「リサイクルDEボランティア」



2013年度

山形県立東根工業高等学校(東根市)
「続ける手作り太陽電池パネルと資源の有効活用
～持続可能なまちづくりのために～」



2014年度

株式会社滝の湯ホテル(天童市)
「人と環境に優しい宿づくり」

ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2014」 活動事例集

【製作（主催）】

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2014」実行委員会

【共 催】

特定非営利活動法人山形県自動車公益センター

【後 援】

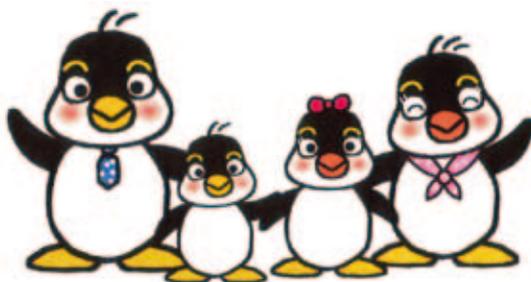
山形県

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

平成27年2月20日



【本冊子についての問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <http://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。